

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2792600070		
法人名	株式会社 エフ・エム・シー介護サービス		
事業所名	FMCグループホーム一番町		
所在地	大阪府 門真市一番町6番7号		
自己評価作成日	平成25年1月23日	評価結果市町村受理日	平成25年3月25日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター
所在地	大阪府中央区常盤町2-1-8 親和ビル4階
訪問調査日	平成25年3月4日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> 入居者様の命を守ること。健康管理の充足を図る介護支援を 入居者様が日々笑顔で楽しく過ごして頂ける介護支援を 認知症高齢者の全てを尊敬の意を持って受け入れる介護支援を 人と人とのコミュニケーションを大事にした介護支援を 地域社会の一員として、その人らしい生活が送れるような介護支援を 近隣の方々と交流を深め催し物や行事に参加させて頂けるような介護支援を 入居者様ご自身が来訪者に笑顔で挨拶をされるような介護支援を …このような介護支援を…私たち「FMCグループホーム一番町」はさせて頂きます。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>開設後1年が経過し現在定員18人のうち13人が利用しているホームは素晴らしい公園に隣接し、古い町並みに囲まれた環境に立地している。施設長は法人が運営する寝屋川市のグループホームで立ち上げ時から関わり、多くの利用者として接してきたキャリア抱負の方である。事業所は開設時より24時間医療連携を構築し、早い段階から重度化に関する話し合いを実践している。利用者ごとに日々の生活状況が詳細に記入された月間「便り」を写真同封で送付しているため家族は健康面でも安心である。管理者や計画作成者はユニットリーダーも兼ね職員と一緒に毎朝法人の心得・理念(行動指針)を唱和し、明るく笑顔で利用者1人ひとりの自立を大切にケアサービスの向上を図っている。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型の介護施設であることを織り込んだ「FMCの心得・理念」を作成し、管理者を始め介護職員に周知徹底を図り実践しています。	グループホーム3箇所を運営する法人は運営理念及び運営方針を作成し、介護支援の心得10項目(行動指針)を毎朝唱和して職員の共有を図っている。	施設長はグループの理念作成にも関わり素晴らしい運営理念・方針を掲げている。その方針を大切にしながらも事業所独自の理念を職員と相談して作る事を期待したい。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	入居者様が地元地域の催し物に参加したり、ホームで催し物をする場合には地域の方々に案内状をだして参加して頂くようになっています。	古い町並みであるが自治会活動が殆んど無く加入に至っていない。地域住民の将棋ボランティアや音楽サークルを積極的に受け入れている。「介護何でも相談所」として地域の方と交流を図ったり、地域行事にも参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	「施設長の石谷」は認知症高齢者のグループホームの運営を約10年に亘りを行っているので、当該ホームの玄関にも「介護なんでも相談所」の看板を掲げている。また地域の要望に応じて認知症介護の講演も行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を実施しているが、そこに参加されるご家族からはそのような意見がないので直接的なサービス向上策にはつながっていない。	開設1年目は3回開催し、家族、地域包括センター、民生委員等が参加されている。自治会に毎回案内しているが欠席である。会議は事業所の報告だけでなくテーマを決めた説明をして双方向な議論展開を図っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	我がホームがある当該地域では市町村との直接的な協力関係がうすいように思うが…、今後はもっと密な取り組みを行いたいと思います。	市は3市広域の介護保険制度になっており、市と連合会という2つ行政との関わりは複雑である。事業所は出来るだけ訪問し交流を深めるように努めている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的には身体拘束のないホームであるが、玄関をでると自動車の走る道路であるので玄関の自動ドアについては電気錠で開け閉めをしています。	原則身体拘束は行わない事を明示している。身体拘束排除マニュアルに基づいた研修を定期的に行っている。玄関はまだ帰宅願望の利用者が多く安全の為に施錠しているが日常的な外出を頻繁に行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止についてマニュアルや研修をおこない、日頃から虐待防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	弊ホームには、後見人がついておられる入居者様が2名居られるのでその制度については認識しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居に関する流れを判りやすく図式化した説明表をつくり、それに沿った入居手続きをして頂いています。また、契約内容については関係者の皆さまに納得して頂く説明をしています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族からのイベント情報などがあれば、それに参加するなど意見や要望を実現する努力をしています。	運営推進会議に数名の家族が参加しており意見・要望は少ないが地域のイベント情報を参考にしている。家族の訪問時に出来るだけ意見を聞くように努めている。	家族が気軽に意見を言える雰囲気作り、又、職員が工夫して聞いた意見を苦情処理簿に内容・経過・対応結果を記入し、そのファイルが事業所の財産になる事を期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見や提案を受け入れる用意はあるが、そのような具体的なモノがでていませんので・・・。	職員会議を月1回開催し、意見を聞く時間をとっている。運営に関する意見は少ないが利用者ごとのケアサービスの仕方等での質問が多い。出された意見は皆で改善につなげている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望があれば、その希望を叶えて貰うように努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各種研修の案内を全従業員に知らせて希望者には会社の経費で研修を受けて貰える環境を整えています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	門真市内の高齢者福祉施設部会に管理者と職員の2名が加入して勉強会にも参加しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や関係者(ケアマネジャーや介護関係者)にヒアリングをして、そのように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	それが認知症高齢者を抱えるご家族であることを認識したうえで、そのように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	特に我々のグループホームにおいては必要なことであると認識しているので、そのように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	その方の持つておられる能力で出来ることにはご自分でして頂いたり、お手伝いを頂いたりしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の要望や希望が出た場合には、それを実現するようにご家族に連絡し、我々とご家族と共にご本人の要望を叶える支援をしています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	その方にもよりますが、それまで住んで居られた地域の方々が面会に来られ馴染みの関係を続けておられる方もありますが・・・時々、ドライブでの出身地を尋ねたりもしていますが・・・。	利用者が今まで住んでいた地域の住民が訪問されたりしている。実家に帰ったり、いきつけの美容院を利用したり、ドライブで出身地を尋ねたりして馴染み場所への支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	社会的な環境で生活をしてこられた方は、直ぐに友だちに(仲間)になれます。が、他人との協調性がなく、孤立されておられる方には、その方に合った支援をするように努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	そのような状況になっていませんので…、そうならば、そのように努めます。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	それぞれの方々の意向に添うよう努力しています。	アセスメントで過去の生活歴等を出来るだけ聞き、職員は共有している。日々の暮らしに寄り添いながら本人本位の思い(編み物やカラオケ等)に添った支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その方が入居以前にお世話になっていた方(ご家族・その方のケアマネさん・入院時の関係者など)に情報をいただき、その方の暮らしをより良いモノにする努力をしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	その方の日常を認識し、その方の現状を把握していくよう努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	そのような介護計画を立案し、モニタリングをしています。	月1回の職員会議は、カンファレンスを同時に行い利用者ごとのモニタリングを実施している。計画変更は6ヶ月に1回の実施であるが急変時や入退院時には即見直しを行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	そのように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	当ホームでは入居者さまの生活に必要なと思う歯医者さんや、整骨院の先生にも往診を依頼して入居者さまの生活に必要な多機能化に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	各種のボランティアさんとの交流を図ったり、門真で活躍されているJAZZ愛好家(演奏者)に来て頂いてJAZZコンサートを開催したりを行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	弊ホームの主治医が日常の健康管理を行っていますが、入居以前に入院されておられた方には、その病院に受診をして頂いたりの送迎までを行っています。	医療連携を契約しており、医師が月2回往診していると共に毎週看護師のチェックを受けている。以前の専門医への受診支援も行っている。歯科医も適切な往診を受けている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護スタッフで取り扱えない状況(巻き爪・強度な便秘・女性特有の病気など)は介護スタッフが看護師に依頼しその適切な対応をして頂いています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	近隣の入院可能な病院に当ホームのパンフレットを持って案内し、双方で情報交換が出来るような関係を構築しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	身体的な状況を見極めたうえで、看取り契約を締結したり、介護スタッフには今後必ず必要となる「痰吸引」の講習会に参加してもらったり、重度化や終末期に向けた環境整備を行っています。	早い段階から重度化や終末期に於ける話し合いを行い看取り指針を契約書で交わし、同意を得ている。24時間医療連携が構築されているが事業所での看取り経験はまだ無い。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	主な介護スタッフには、そのような教育が出来ていますが、入社間もない新人の介護スタッフの教育は遅れているので、今後は定期的な訓練を行っていくように努めます。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	春と秋に消防訓練を実施し、その体制を構築していますが、地域との協力体制は未だ不足しているとおもいますが・・・。	年2回消防署の指導の下で消防・避難訓練を実施している。火災時に於ける避難誘導マニュアルを作成している。	夜間時を想定した訓練はグループホーム協会のHPの調査研修報告の資料を参考にするなど、地域の住民の協力を呼びかけ、より実践的にくり返しの訓練を期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方にあった言葉かけをしています。	プライバシーを損ねる言葉掛けに対しては職員皆で話し合い、気付いた時は職員同士が注意し合うようにしている。10項目の職員心得(行動指針)を毎朝唱和し接遇の意識向上を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り、そのように働きかけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	そのように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	そのように努めています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その方の能力にそった支援をしています。	利用者はお米を洗ったり、味付けを手伝ったり一連の食事における過程で積極的に参加している。職員と一緒に和やかに楽しく食事をしており、利用者の顔は満足感に満ちている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その方にそった支援をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	日常的には介護スタッフが誘導し口腔ケアをしています。週に1回は歯科医と歯科衛生士が来所され専門的な口腔ケアをされています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々にあった支援を行っています。	利用者ごとの排泄パターンを把握し、出来るだけ自立で排泄が出来るように実践している。入所以前より数人が布パンツに改善できた事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトや牛乳やバナナジュースなど飲料物を日常的に飲んで頂いたりして、なるべく薬にたよらない便秘対策を日々行っています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入居者様の希望で入浴されるか、されないかは、その方の意思ですが、時間帯は・・・(夜間や早朝は無理です)そこはその方だけの希望にそわないときもあります。入浴介助は決めた時間に支援を行っています。	週3～4回の入浴が出来るように支援している。嫌がる利用者には利用者の思いを検討し、本人本位に時間をかけて自立で入浴が楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方にあった自由な状況で支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の名前が入った薬箱があり、そこから朝・昼・夜のお薬をだして服薬して頂いています。スタッフ全員が服薬間違いがないように日々緊張感をもって確認しながら支援しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	編み物が得意な方には編み物セットを提供したり、カラオケが好きな方にはカラオケ大会をしたり、将棋の好きな方には将棋ボランティアの方に来て頂いたり、それぞれに合った支援をしています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣のスーパーに行ったり、時には回轉寿司にいたり、花博の咲くやこの花館や菖蒲園などに出かけたりの支援をしています。ミュージカルも観に行きました。	見事な桜が咲く公園が隣接しており、日常的な散歩コースとなっている。買物の要望にはスーパーに出かけている。回轉寿司、花博、菖蒲園等盛りだくさんに特別な外出を企画し支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族から、お一人に1万円程度をお預かりして(個々の金銭出納帳があります)外出時にそれで買い物をして頂く支援を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様のお二人は携帯電話を持っておられます。また、ホームの電話で3日にあげずご家族に電話をされている方も居られます。今後、手紙のやり取りも支援していきたいと思えます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各室も共用空間も利用者さまにとって、不安のないように居室前には顔写真を貼ったり、トイレには大きく看板をつけたり、共用部分には利用者さま手作りの飾りつけをしたり工夫をしています。	美しい木目調の廊下はソファを置いても広さにゆとりがある。居間兼食堂やトイレ及び浴室等の共用空間もゆったりとして落ち着いて過ごせる雰囲気になっている。所々に観葉植物を置き、壁には利用者の手づくり作品の貼り絵やイベント時の写真が飾られている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	4人掛けのテーブルにお名前を書いた名札や写真を引き並べたり、花を飾ったりして工夫をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ある女性の入居者さまは以前から使っていた鏡台を自室に置かれたり、ある方は絵画を飾られたり、愛用のタンスを持参されている方も居られます。	思い思いに馴染みの家具を持ち込み絵画や花を飾り、家庭と変わらない居心地良く過ごせる居室作りを支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	おひとりお一人が安全に生活できるような環境整備をしています。		